＊＊＊における＊＊＊の考察　―＊＊市の事例を中心に―

*（上記題名と下記番号名前研究室名はMSｺﾞｼｯｸ体12ﾎﾟｲﾝﾄで。間を１行空ける）*

　20140XX　　政策　太郎　（＊＊＊研究室）

Ⅰ．はじめに・緒言・目的　等

　近年，＊＊＊における＊＊＊が問題になっている。＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊*（要旨本文は，小見出しMSゴシック体10ポイント，本文はMS明朝体10ポイントで作成する。これはあくまでも章立ての例なので，それぞれの専門に適した形で変えてよい。要旨集は，学内外の方や後輩たちの目にも触れることを意識して書くこと。つぎの章見出しとの間は１行空ける。本文1400字程度まで。頁設定は，40字×40行，余白は上下左右各25mmとする。　1人がA４版1枚に必ずおさまるように，ページ設定は厳守すること。）*

そこで，本研究においては，＊＊＊ために＊＊＊を＊＊＊の点から分析した。

Ⅱ．研究の方法と対象・先行研究の整理・問題の背景　等

　従来，＊＊＊については，多くの研究がある（田中1996；Smithら1998ほか）。特に＊＊は，＊＊＊といわれている（山田・森2004：93-95）。しかし，＊＊＊＊＊*（引用や参考文献の示し方はそれぞれの専門の慣用でよいが，一定の基準に従って行うこと）*

Ⅲ．結果・＊＊＊の分析　等

１．調査＊＊の分析

　＊＊を対象にSD法を用いて行った調査の結果，＊＊に対して＊＊が45.6％，＊＊が6.2％であった。これは，＊＊＊＊*（文中の英数字は半角，句読点は「，」カンマと「。」を用いる）*

２．調査＊＊の分析

　つぎに，＊＊＊において＊＊＊

Ⅳ．考察・＊＊＊の分析・＊＊＊への示唆　等

調査の結果から，＊＊*（図表を入れる場合は各専門の書式に従う。出典・資料等を明記）*

Ⅴ．おわりに・結論・今後の課題　等

　以上の分析から，＊＊＊ということが明らかになった。今後は，＊＊＊

主な参考文献　*（文献はMS明朝9ポイント，書式は各専門の慣例に従って統一すること）*

田中一郎（1996）「＊＊＊の研究：＊＊＊の一考察」『水産学会誌』45(1)，33-37．

*（要旨原稿のファイルは，****１月28日までに****各自の卒論指導教員にE-mailの添付ファイルで提出すること。ファイル名は　「20140XX KaiyoTaroAbstract」のように、自身の学籍番号と名前を記すこと。ファイルに不具合があった場合にすぐ連絡できるように，メール本文中に自身の連絡先（メールを定期的に確認しているメールアドレス，必要に応じて携帯電話番号等）を明記すること。提出期限厳守。間に合わない場合，卒論単位を取得できない可能性がある。ファイルは絶対にバックアップを取ること。編集時の修正を減らすため，上記の書式を必ず必ず守ること。）*